

ピースクラブ通信

No.11

発行 社会福祉法人 ピースクラブ
 住所 〒556-0004 大阪市浪速区大國1丁目1-1
 連絡先 TEL&FAX 06-6647-2077
 Eメール peaceclub@s2dion.ne.jp

映画

「ごんちくしよう」

上映会

11月17日(土)、ピース4階ホールでドキュメンタリー映画「ごんちくしよう」を観た。西宮市在住で、長年自らも障害者の自立生活解放運動に携われてこられた福永年久さんが、沖縄伊江島の民宿「土の宿」を訪ねた折、そこを経営し、画家の木村浩子さんに会い、木村さんから先駆者の生き様を今の人の伝えようと、広島

田部正行さん、神奈川の横田弘さんの取材を合わせてこの映画を製作した。詳しい内容は省くが、障害者が家庭施設に閉じ込められていた時代、脳性まひ者としての誇りを持ち、社会の中へと飛び出して行った鮮烈な記録である。私は木村さんとは同郷の付き合いで、別のルートか

ら社会へ出た関係上、映画当時の障害者運動とは無縁だったが、結果的に木村さんの後を追うかたちで、木村さんが自立生活を始めた町で、一障害者として20年あまりを過ごした。そういう意味で、一つひとつ自分の生活を作り上げていった時代のことを思い出す、懐かしい映画でもあった。当日は映画

の上映の前後に、福永さんの講演と質疑応答があり、来会者は35名。他に観てほ



ピーコラ

この前のピーコラでヘルパーの「資格」と書いてあったけど、なんだらうと疑問の声があった。つまり世間でいう公的なものかそうでもないものかと▼もちろん本来「資質」というのがもっとも近い言葉なのだけど、そう書かなかつたのは資質だけではなく、その裏付けになる知識や理念が必要と思つたからかもしれない▼ヘルパー制度の草創期、女性の失業対策の色合いが濃く、介助される側に主体が置かれていない時代、最低限の「資格」が必要と思つていた▼まあ、結局は人間性の問題に帰ってくるが、難しい事を言わなくても、恋人同士ではないけれど、一緒にいて楽しいかどうかが大切なんだらう

(普)

しい人もいたが、来春、レ
ンタルも始まるというので、
ぜひご一見を。決してあの

人たちはと違、などと
は思わないでほしい。
(報告・中村晋作)

大丈夫、なんとかなるよ

このゆきよ

わたしには幼なじみがいま
す。素敵なところも、悪いと
ころも全部含めてお互い知り
尽くしている間柄です。

わたしの彼女のことがとて
も好きで会いに行きます。そ
うすることで彼女が楽しい
気持ちになればいいなと思
います。どうしたら彼女が抱
える問題が解決するのか、わ
たしにはちつともわからなく
て、話を聞くことしかできな
いんだけれど、なぜだか「大
丈夫、なんとかなるよ。そ
んな風に考えなくていいんだ
よ。」とわたしは確信をもっ
て言い切っています。どう
して言い切れるのかと考える
と、ピースと関わりがあるか
らなのかなという考えにたど
り着きます。

わたしには幼なじみがいま
す。素敵なところも、悪いと
ころも全部含めてお互い知り
尽くしている間柄です。
彼女は結婚して、今まで縁
がなかった土地へ引っ越しま
した。知り合いといえ、だ
んなさんとだんなさんの家
族だけです。彼女は言葉や
食文化など色んな違いにと
まどい、いわゆる「いなか」
のしがらみに息苦しさを覚
え、どんな不安定になっ
ていきました。そんな中で子
どもが産まれ、子育てが始ま
りました。心安らかに頼れ
る(頼りたいと彼女が思える)
人もおらず、さらにもっと
不安定になっていきました。
今でも不安のまっただ中にい

「ウノさん来るのん、待っ
てんで。」ってさとちゃん
が、「ずいぶん久しぶりや
ねえ。元氣やった？」って
血木さんが言ってくれます。
待つてくれて、笑顔を見せ
てくれる人がいることはとて
もうれしいことです。「ウノ
さんには予備知識がないから
こそできる行動があるよね。」
と朝子さんがおっしゃったこ
とがあります。知識や経験
のなさを弱みにするのではな
く強みにする言葉をいただい
て、自信ができました。「人
のことばかりに必死になら
んと、自分の身の回りのこと
もしつかり考えや。」と河野
さんに叱られたこともありま
す。自分の抜けているところ
を指摘してもらって、気を引
き締めなおしました。
見守ってくれているみんな
ながいます。失敗しちゃった
としても、受け止めてくれる
みんながいます。行動で示し
てくれるみんながいます。そ

して、難しい顔をしていて
も、最後には大笑いしている
みんながいます。そのことを
ピースに関わりのあるみんな
が感じているとわたしは思う
のです。だから、わたしも笑
顔になって「大丈夫、なん
とかなる。」と思えるんでしょ
うね。
幼なじみが元気になるのは

いつなかわかりませんが。で
も、大丈夫、なんとかなり
ます。ゆつくりでも大人も子
どももみんな成長していき
ます。変わらないものはない
んだから、今の状況がずつ
と続くはずはないです。彼
女が元気になる日を彼女の横
でわたしは待っています。



ユーエスジェー イーティー ひだりうえ
▲USJでETと(左上がうのさん)

ピースの3階教室

コーちゃんのギター教室



弾いてみる。唄いながらギターで音階を
毎週月曜日の15時から17時までピースクラブの3階で郁也にギターを教えている？ポツポにいた村田君
か・・・
今はニューフェイスで大賀蔵(げん)が参加し、聡のお囃子？もあって賑やかだ。

ウクレレを買って一時はやる気を見せた道本は仕事に忙しいらしく、たまに一緒に唄ってくれる程度だが、またウクレレを持って参加して欲しい。
楽器を演奏する技術を習得？するには、それなりの苦しい？練習を繰り返さなければならぬと思っ

ている。
まずは集中してドド・レ・ミミ・ファファ・ソツと音階の練習をし、1曲唄い、また音階・・・繰り返す。音が出ると横に座っていた信二も反応する。自分、そして周りにいる人達も楽しくなるやう、各人

が一人でも楽器を弾き、唄えるやうになって欲しい・・・好きこそもの上手なれとはよく云ったものだ。もつともつとギターを好きになつて欲しい。ずっとずっと音楽を好きでいて欲しい。いつの日か一心不乱に飯も食わずに楽器を練習？い

LOOK AT ME!

「ピースクラブ・そうそうの杜」合同展が10月18日(22日)、新世界、SUNGMASA JAZZ HOUSEにて開かれました。場所柄、一般の入場者も多く、制作者、来場者共に楽しんでいました。できれば来年も続けていきたいと思えます。

(やまがきよはる)
*毎月第1、第3水曜日はピース3階で絵画教室があります。



▲来会者といっしょに

や、弾きまくる日々がやってくることを・・・
河栄KOEI

あやいの みやこじま

宮古島だより

宮古島には池間島という島があります。今は長い橋が架かり、車でスイスイ行けます。池間島で生まれた人は「池間民族」と言っで島で生まれた事に誇りを持つています。と聞きました。池間島には井戸が沢山あり、亡くなった人を清める井戸、赤ちゃんが生れた時に清める井戸、と昔から言い伝えられ今でも使っているそうです。この島は、港の護岸工事して今ではコンクリートで固められています。大きなモクマオウの木が沢山植えてあり砂浜が広がり、島の子供たちはこの砂浜でよく遊んでいました。そしてこの海は島の温原に続き、魚が沢山湾から温原に入っ来て来たそうで

す。湾の入り口にはいつもオジーが木の枝を持つて座り、魚が入ってくると木の枝を振り「魚が入ってきたよ」とれー！と島人に合図すると、一番初めに母子家庭の親子、障害者のいる家の人が魚を取り、他の人はその後魚を取ったそうです。湿原の奥にはハンセン病の人が一人で住んでいて、島人はその人の所に野菜やら魚を毎日運んで来たそうです。宮古島では昔から障害のある人を、神様のように扱った中では一番先に食べさせたのも、家族の中でとても大切にしていたそうです。

宮古島で生まれて、育った私ですが、初めて聞いた池間島の話でした。

そーか、障害者が神様か？と、いつも私の隣にいる神様。「吉郎君は神様ですか？」「はい。」と真顔で答える吉郎様。

神様は神様を大事にするのか、おじの遺影の横に、ブルースウィリスのビデオを並べ、3時のお茶をあげようと線香たてたおぼーをびっくりさせたり、墓石に映る自分に話しかけたり、家のおじは、仏壇に入っても、墓に入っても、話相手がいなくて「吉郎、ラジオに電池いれて！」「吉郎、扇風機を組み立てて！」おぼーは、吉郎を結構頼りにしている。あほな振りして、本当は何でも出来る神様なのかも？

(沖繩「土の宿」機関紙くすくやまから転載)

これからめすわづーい

12月1日(土) 八重山ぬ宝

宮良康正民謡ライブ

4階イヴェントホール

開演：19:00

12月28日(金) 大掃除・忘年会

1月18日(金) ~ 29日(火) 中村晋作展

天音堂ギャラリー (西区・南堀江)

*ピースクラブ、年末年始のお休みは

12月29日(土) ~ 1月6日(日) までです！

(先の通信10号より紙面作製は韓鍾裕が担当しています)